

従量制のITでビジネスを飛躍させる

HPE GreenLake

今すぐ始める >



柔軟な調達モデルにより、
シンプルかつセキュアで
制御しやすい伸縮性のあるIT環境を、
ニーズに合わせてオンプレミスで
活用できます。



目次

高まる期待に応えるための大きな変革とは

次のステップ: 従量制のIT

包括的かつ厳選されたHPE GreenLakeソリューション

ニーズに応じたインフラストラクチャの消費

期待に応える成果を実現

従量制のITに適したパートナーの選択

HPE GreenLakeを活用して、市場に変革をもたらす





高まる期待に応えるための 大きな変革とは

私たちは消費主導の社会に生きています。より迅速、確実に、かつ低コストで競争力を高めて優れた成果をもたらすためには、従来とは異なる新しい方法でITを消費する必要があります。事業部門のリーダーは、絶え間なく変化するニーズに対応できるようITが継続的に発展することを期待しています。また、完全に制御可能で、アジャイルかつスケーラブルなリソースへの迅速なアクセスと、従量制で利用できる、透明性が高く把握しやすいユーティリティモデルを求めています。

競合他社の一步先を行き、新たなビジネス機会を活かすためには、運用の変革が欠かせません。その際には、使用量の選択、柔軟な消費、迅速なイノベーション、およびユーザーごとの特有成果を実現するとともに、アプリケーションとデータの完全な制御が可能なテクノロジーに投資する必要があります。

IDC社によると、ITリソースの調達に関して無視できないほどの大規模な変革が進んでいます。

「as a Service」モデルの発展に伴い、2020年までに、データセンターにおける従量制の調達件数が従来型の調達件数を上回り、企業の「ITインフラストラクチャ支出」の40%を占めるようになる見通しです。」¹

1 『IDC FutureScope: 2018年の世界各国のデータセンターに関する予測』、文書番号US43152417、2017年11月



高まる期待に応えるための 大きな変革とは（続き）

競争力の向上に不可欠なアジリティとスピードを実現するためには、組織が求める環境、柔軟性、制御、透明性をITユーティリティ（オンプレミスの従量制）モデルとして提供できる、新しい方法を見出す必要があります。このため**ヒューレット・パッカード エンタープライズのサービス組織であるHPE Pointnext**は、お客様の重要なビジネス機能をサポートするオンデマンドの従量制ITを提供することによって業界に変革をもたらしています。

「先見性のあるITリーダーは、従量制のITモデルを実装することにより、企業のデータセンター内でクラウドのエクスペリエンスを再現します。…多くの企業は、現状に甘んじることなく「新たなコンピュータエクスペリエンス」（あらゆるインフラストラクチャが高い柔軟性をもち、自動化され、容易に管理できるハイブリッドIT環境）を追求しています。新たなコンピュータエクスペリエンスとは、オンプレミスデータセンターで、優れた拡張性、効率、コスト効率など、パブリッククラウドと同等のメリットが得られることを意味します。」

- 『2層構造のIT環境からの脱却: 従量課金制のサービスで企業保有のデータセンターにクラウド並みのメリットをもたらすには』、Frost & Sullivan、2017年



次のステップ: 従量制のIT

従量制のITとは基本的に、オンプレミスのITインフラストラクチャリソースを、制限のない柔軟かつ最適な方法で提供することにより、IT運用を簡素化するものです。キャパシティ管理、計測、リソースプランニング、パッチ管理、ハードウェア/ソフトウェアサポートなどのアクティビティを統合し、調達と運用が容易なパッケージ化されたサービスとして、従量課金方式で提供します。

ITインフラストラクチャ全体を徹底的に構築するのではなく、IT-as-a-Serviceモデルによる従量制のITを利用することで、制御性とコスト効率の向上、価値実現時間の短縮、および運用の簡素化を実現できます。従量制のITには、次のようなメリットがあります。

- インフラストラクチャの初期投資を招くことなく、革新的なプロジェクトの立ち上げが可能
- 伸縮性のあるITを実現してインフラストラクチャを展開、拡張することで、価値実現時間を短縮
- 長期にわたる調達サイクルを排除し、市場動向への迅速な対応と競争力の向上を促進
- 投資収益率 (ROI) および正味現在価値 (NPV) 会計計算の大幅な改善により、ビジネスの正当性の証明を簡素化
- パブリッククラウド機能を備えたオンプレミスインフラストラクチャの供給により、シャドーITの脅威を最小化
- 使用量とコストの透明性向上により、ビジネス管理を改善
- セキュリティとコンプライアンスを確保するため、オンプレミス環境で制御を維持





次のステップ: 従量制のIT (続き)

従量制のオンプレミスITでは、これまで利用できなかったアジャイルな新しいモデルに、従来の機能、コアIT、プライベートクラウド、アジャイルなクラウドネイティブITなどのITの調達、展開、およびメンテナンスを簡素化する、使用量ベースの新たなサービスパラダイムを組み込んでいます。

HPE GreenLakeフレックスキャパシティによるインフラストラクチャの消費における成功とリーダーシップを基盤とし、HPEは消費における次のステップとして、お客様に合わせて設計、実装、運用する包括的なソリューション群で市場ニーズに応えようとしています。HPE Pointnextが提供する**HPE GreenLake**は、まさに両者のメリットを兼ね備えています。HPEが手間のかかるIT業務を実行し、お客様にシンプルな従量制課金の環境を提供します。お客様は、自社環境でアプリケーションとデータの完全な制御を維持するとともに、以下を実現できます。

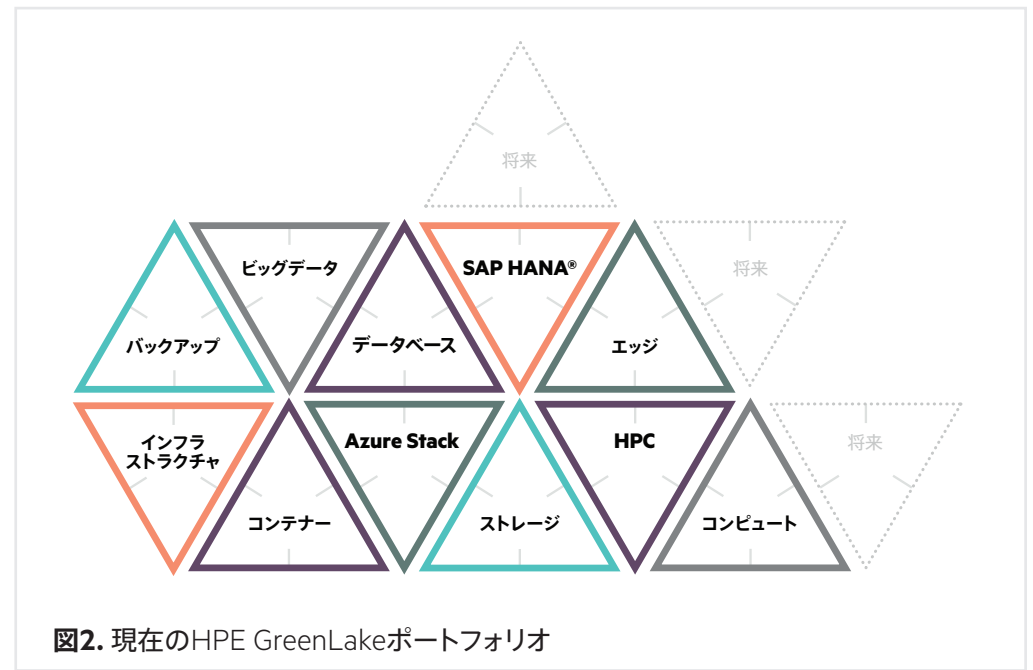
- 迅速なオンボーディング
- 設計および統合済みのソリューション
- 設備投資不要
- ニーズを先読みして進化する、伸縮性のあるIT





包括的かつ厳選されたHPE GreenLakeソリューション

パブリッククラウドの柔軟性をオンプレミスで、またお客様の制御下で実現するHPE GreenLakeは、お客様が必要とするリソースを必要なタイミングで提供できるよう設計されています。エッジコンピューティング、リアルタイム分析、ビッグデータや、バックアップなどの**運用タスク**に対応する、包括的かつ厳選されたソリューション群で構成されており、シンプルな従量課金モデルでハードウェア、ソフトウェア、および専門知識を活用することで優れたIT成果を実現できます。





包括的かつ厳選されたHPE GreenLakeソリューション（続き）

成果重視の各ソリューションには、次のようなサービスが含まれます。

- HPE Pointnextが提供するアドバイザリおよびプロフェッショナルサービスでは、ソリューションの決定、導入、統合が迅速に行えるよう支援するほか、システムとプロセスの継続的な最適化に関するHPEの推奨事項を提示します。
- 最新のテクノロジー（ハードウェアおよびソフトウェア）を基盤とし、各ソリューション向けに最適化された専用のリファレンスアーキテクチャーを活用して、迅速に成果を実現できます。
- 実績のある従量制課金のHPE GreenLakeフレックスキャパシティモデルでは、ソリューションのライフサイクルにわたる変化を管理できるよう設計された独自のビジネス評価基準を使用して、HPE製の幅広いインフラストラクチャを消費できます。
- **HPE Pointnextがソリューションのリモート監視および管理を実行すること**で、企業のIT部門では、ルーチンのインフラストラクチャ管理タスクの負荷が軽減され、導入したその日から、新たなテクノロジーに関するスキルと専門知識が得られます。
- エンタープライズグレードのサポートに加えて、**HPEデジタルラーニング**のサブスクリプションによって、IT部門が成果を上げるために必要なデジタルスキルを提供するe-ラーニングコンテンツを利用できます。

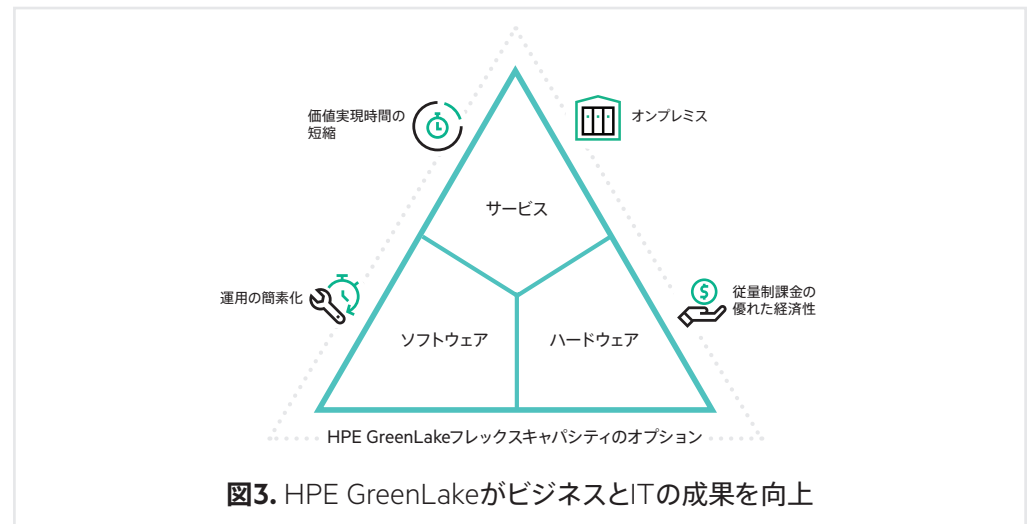




ニーズに応じて選択できる消費インフラストラクチャ

HPE GreenLakeフレックスキャパシティを利用して、テクノロジーおよび運用環境を選択する方法もあります。HPE Pointnextが提供するこのサービスでは、お客様が即座にオンプレミスインフラストラクチャを消費することができます。実際に測定された使用量に応じて料金の変動のほか、予備容量のオンサイトバッファによる迅速なスケーラビリティ、エンタープライズグレードのサポートなど、オンプレミスインフラストラクチャでクラウド並みのエクスペリエンスを実現します。

コンポーザブルインフラストラクチャ、仮想マシン（VM）ベンディング、一般的なコンピュートやストレージ、またはハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）などのあらゆる用途に、HPE Synergy、HPE SimpliVity、HPE Apollo、HPE 3PAR、HPE Networkingを含むHPEの最新テクノロジーを使用することができます。Dockerコンテナ、Microsoft® Azure Stack、またはハイブリッドHPC向けに消費プラットフォームをご活用ください。HPE GreenLakeフレックスキャパシティを利用してインフラストラクチャソリューションを設計、消費すれば、お客様のニーズに応じたサポートと運用が可能になります。



期待に応える成果を実現

広範囲にわたる堅牢な製品を活用するHPE GreenLakeは、お客様が求めるビジネス成果をもたらす設計となっています。シンプルな従量制調達モデルとして、HPE Pointnextが設計、提供、および運用する包括的なソリューション群で構成されたHPE GreenLakeソリューションにより、以下を実現できます。

- 価値実現時間の短縮:** HPEが設計、実装、および運用する包括的な機能ソリューションを導入すれば、お客様が予測するニーズに基づき、ニーズに先立ったスケーリングが可能です。
- ITの優れた経済性:** ビジネス向けの測定基準に基づいて使用分だけの料金を支払うことで、完全に従量制のIT環境を実現できます。
- ITエクスペリエンスの簡素化:** ビジネスクリティカルなソリューションのエンドツーエンドの最適化、運用、およびサポートを単一のパートナーが行うことで、お客様に安心感をもたらします。
- 適切な制御:** それぞれのソリューションがお客様のオンプレミスのIT環境から提供されるため、ユーザーエクスペリエンスだけでなく、コンプライアンスやプライバシーのニーズに対応する方法も完全に制御できます。

HPE GreenLakeを活用すれば、オンプレミスでの運用により、価値実現時間の短縮、ビジネスの優先事項に合致したITの経済性の実現、およびIT運用の簡素化をすべてお客様の制御下で行えるだけでなく、新しいテクノロジーの習得と維持にかかるオーバーヘッドも排除できます。



「エンタープライズ向けデータセンターインフラストラクチャの展開および管理に責任を負うデータセンターサービスのパートナーと連携することで、企業は効率的かつコスト効率に優れたITリソース稼働モデルを実現できます。このモデルでは必要に応じたインフラストラクチャの利用と展開が可能です（従量制）。これにより、拡張性、可用性、またはセキュリティを低下させることなく、効率が向上し、コストが削減されます。」

- 『2層構造のIT環境からの脱却: 従量課金制のサービスで企業保有のデータセンターにクラウド並みのメリットをもたらすには』、Frost & Sullivan、2017年

従量制のITに適したパートナーの選択

従量制のITを活用できるのは、インフラストラクチャだけにとどまりません。これには、ビジネスに幅広いエクスペリエンスを迅速に提供する上で必要な追加サービスなども含まれます。そのためには適切なパートナーを選択する必要があります。

HPEは、HPE GreenLakeフレックスキャパシティを基盤として、従量制のIT市場をリードしています。業界トップクラスのイノベーションをベースに構築され、7年以上前から世界各国のお客様に利用されているHPE GreenLakeフレックスキャパシティでは、需要に先立ってハードウェア容量を確保できるほか、透明性の高い従量課金方式を利用できます。また、パブリッククラウドに拡張することで、予期しない成長や使用量の急増にも対処できます。

さらに、長期にわたるイノベーションの次のステップとして、HPE GreenLakeでは、単一の従量課金モデルでお客様が求める成果を選択するだけで、後はすべてHPE Pointnextが対応することが可能です。



「設備投資を抑えつつ従量課金方式に対応するには容量の追加が必要でした。HPEフレキシブルキャパシティにより、スケーラブルなサービスプロバイダーのインフラストラクチャに対して成長に応じたサポートが提供されることで、当社の財務計画とキャパシティ管理の効率化が進んでいます。」

- **Capgemini Infrastructure Services**、デリバリ担当ディレクター、**Matti Asikainen氏**



詳細情報

www.hpe.com/jp/GreenLake

HPE GreenLakeの活用で市場に変革をもたらす

今やパブリッククラウドとオンプレミスITのどちらかを選択する必要がなくなり、両者のメリットを活用できるようになります。自社のデータセンター内やエッジで完全な制御を維持しつつ、事業部門が必要とする前に必要なリソースを提供することが可能です。また、お客様が求めていたメリットも迅速に達成することができます。これらすべてが、従量制のIT市場のリーダーと連携するだけで実現できます。

広範囲にわたる堅牢な製品を活用するHPE GreenLakeには、ビジネスクリティカルなソリューションの提供に関するグローバルな専門知識、革新的な資金調達、高度なインフラストラクチャリモート管理機能を使用した世界規模かつエンタープライズグレードのサポートが含まれます。また、迅速に習熟できるよう、各ソリューションには**HPEデジタルラーニング**のサブスクリプションが含まれており、必要に応じてe-ラーニングコンテンツを活用すれば、IT部門に新たなスキルを導入できます。

HPE GreenLakeの詳細とビジネスにもたらすメリットについては hpe.com/greenlake をご覧ください。ただか、またはHPE GreenLakeのスキル向上に役立つ、HPE Pointnextトランスフォーメーションエグゼクティブワークショップをご計画ください。

メールニュース配信登録


Hewlett Packard
Enterprise

© Copyright 2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoftは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標もしくは商標です。SAP HANAは、ドイツおよびその他の国におけるSAP SEの商標または登録商標です。その他すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a00028706JPN、2017年12月